

平成23年9月

名古屋ウエスタズ事務局
2011年9月4日発行
Vol. 127



名古屋ウエスタズのモットー

礼儀正しくする
一生懸命やる
基本通りやる
約束を守る
思いやりをもってやる

はじめに

今年の夏合宿も8月12・13・14日の3日間で無事終了しました。この夏は今までになく暑く3日間とも高温注意報が出るくらいでBチームは初日の50分走で気分の悪くなった選手が数名出ましたがCチームは全員頑張りました。その他体調不良を訴える子もなく3日間の合宿は無事終了しました。

この合宿から色々な形で伸びてくる選手が多数出てくると諸先輩方から聞いています。選手の方々はこの合宿で監督やコーチから教えてもらった事をこれからの練習や試合で実行してどんどん野球が上手になります。そして野球が面白くなると思います。Bチームは中日スポーツ杯の準決勝での敗退をばねに頂点を目指して下さい。Cチームはこれから試合が増えてくるので早くルールを覚え、今は負けても良いから試合に慣れる事が重要だと思います。

今回の合宿は臼井代表、藤井総監督、臼井監督はじめ井上コーチ、佐野コーチ、安田コーチとさらに多数のOBの方たちにきびしくも楽しい指導をして頂きました。選手たちは自分ではわかっていないかもしれませんが苦しくつらいけれど楽しいと思えるような事がたくさんある合宿を積み重ねるごとにウエスタンズの野球を通じて人として成長していくと思います。

また、保護者の方々にも色々なご協力を頂き滞りなく合宿を終える事が出来て感謝しております。有難うございました。

※ あの時のあの苦しきみも

あの時のあの悲しみも

みんな肥料になったんだなあ

いぶんが自分になるための ※

あいだみつを集より

名古屋ウエスタンズ 2011 夏合宿を終えて

Bチーム

※ 近藤コーチより

日頃より臼井(春)監督を始めコーチ、父母の方々には慶亮共々大変にお世話になっております。近藤父です。

今年も恒例のウエスタンズ夏合宿に三日間参加させて頂きました。入団初年度の稲武、昨年の大高に続いて三回目の親子参加となりました。私自身も学生時代に合宿を経験しましたが、良き仲間と寝食を共にして練習に励んだ事は今でも大事な思い出となっています。選手にもそういう経験をして貰えたら良いなと思い参加しました。

一日目は合宿名物の長距離走がいきなりあって選手はびっくりしたと思いますが、日頃から春監督が言っている『自分で限界をつくるな』という練習メニューだと思います。選手みんなが頑張って50分間走りきれた事はきっと選手は自信になったと思います。それと宿舎での寝泊りはどうでしたか？夜のレクリエーションは喜んでもらえましたか？B、Cの選手と一緒に風呂に入り、イベントを楽しむ事も合宿ならではの思い出です！

二日目は多くのOBが来てくれて本当にレベルの高い色々な事を教えて貰いました。ウエスタンズドリームで現役バリバリ！？のOBのプレーは良いお手本になったと思います。いつもより厳しかったのは君達選手のレベルが上がっているからだと思います。だから教わった事をしっかり身に付け自信を持ってプレーしようね！

そして最終日は恒例の100本ノックでした。『自分で限界をつくるな』という言葉に胸にみんなが必死に汗をかき、涙を流しながら白球に飛びつく姿は最高にかっこ良く、監督、コーチ、父母の心を打ちました。

三日間の合宿を終えた時の顔つきは一日目とは比べものにならない位、真っ黒で自信に満ちた良い顔になっていました。

残暑が続きますが、少ないメンバーで必死に頑張っているBチーム選手の数え切れない多くの笑顔を見られる事を楽しみにこれからもお手伝いしていきたいと思っています。

本当に皆様、夏合宿お疲れ様でした。

✿ 吉田コーチより

吉佳（吉田佳祐）、康晟の父、“YOSSY”こと吉田です。いつもお世話になっております。

名古屋ウエスタンズに入団して約10か月。親子共々初の夏合宿でした。正直、入団間もなくこの夏合宿に参加したとしたら、息子達も私達親もかなりキツイ体験となったと思います。しかし、10か月の期間の中で、息子達は勿論そうですが、私達親自身も、臼井代表、藤井総監督、臼井(春)監督はじめ、各コーチ、OBの先輩達、各選手達の親御さん達と交流する時間があつた事で、緊張はしながらも、程よく肩の力が抜けた形で合宿を迎える事ができました。吉佳、康晟も、合宿前から大変楽しみにしていました。合宿2日前に親子一緒に楽しく準備をしましたが、既にその時からてんやわんやでした。母が分かり易く1日毎にユニホーム・着替えをパッケージにしましたが、普段もボーっとしている康晟には難しいらしく、練習時の着替えのアンダーシャツをいつ着るのかを、何遍説明しても理解ができず、案の定、当日は、大事にバックに入ったままでした。

合宿1日目、モリコロパークのA、B球場。2日目、3日目は多目的グラウンド。こんなに良い環境で練習ができるのは本当に素晴らしいと思いました。3日間ずっと最高気温が35℃程で、グラウンドに水を撒いているときに、地面から「シッュッ」と音が聞こえてきそうで、“暑い・熱い”夏合宿でした。そんな中、Bチームは1日目、いきなりの50分間走。まだ午前中とはいえ、30℃はある中、顔を真っ赤にして走っている姿を見て、選手達に水を掛けてあげましたが、皆ユニホームから湯気が立ち上るほどで、走っている選手達以上に、時間が長く感じられました。皆、大丈夫だろうか？熱中症にならないだろうか？そもそも、これからまだ先が長いのに、吉佳・康晟は3日間やり遂げられるのだろうか？といきなりの不安感に襲われました。実際、10名の選手中、4名が休憩を取らざるを得ない状況となり、改めて合宿の厳しさを痛感しました。しかし、選手達は立派でした。日頃の練習の賜物で、その後の立ち直りの早さには、私自身にはない“若さと元気”を感じ、芯(真)の強さを垣間見ました。1日目の練習を終えた時には、私はへとへと。選手達もへとへと・・・とっていたら大間違いで、宿泊所の青少年宿泊センターに着いた頃には、もう元気回復バリバリで、3日間やり遂げられるかどうかなのは、私自身だと思いました。

宿泊所での団体生活は、吉佳は中津川合宿の経

験がありましたので、心配はしていませんでしたが、康晟は初体験でしたので、色々な面で大変心配でした(本人の名誉の為に、紙面に書けないので詳細はご容赦下さい)。それも、色々ご配慮を頂きまして、当人と同部屋にいただき、無事2泊を過ごせることができました。私自身も夜11時の仕事を、酔っ払って忘れる事なく完遂出来てホッとしました。宿泊所生活は、B、Cチーム混合の部屋割りとなって、実に楽しそうで大変良かったと思いました。上級生が下級生を良く面倒を見てくれて・・・、たまに逆になっている子もいましたけど、野球以外の面が色々見ることができて大変愉快でした。中でもお風呂に皆で入ってわいわい、がやがや、チ×ポふりふりするのは男としての醍醐味で、個人的に一番楽しい時間でした。

2日目のBチームの練習は、ピックオフプレーがメイン。OBの先輩達を中心に、非常に難しいプレーを教えていただきました。私自身は炎天下の中、この難解なプレーについて行けず、疲労もあつてか、強烈な睡魔に襲われ、大変失礼をしましたが、3星後方の木陰で10分程気を失わせていただきました。そんな難解のピックオフプレーを理解している選手達は、たとえ出来なくても、すごいチームに成長していると感じました。

そしていよいよ3日目、最終日。事前に聞いていた100本ノックの日。始まる前の、得も言われない緊張感。そんな中、息子達と私達は初体験。経験済みの皆様とは微妙なずれがある中、吉佳がBチームのトップ・康晟はCチーム3番目でノックを受けました。想像を超えるノックでした。しかも個々人の資質・経験をちゃんと考えていただいたノックで、熱く感動いたしました。選手達は勿論、頑張りましたが、一番感じた事は、ノックをしていただいた監督、コーチ、OBの先輩達の熱意と技術でした。ノッカーと選手が声を掛け合い、ボールで会話をしているのが良く分かり、野球(スポーツ)っていうのはやっぱり言葉ではうまく表現できない何かがあるな、この何かを選手達が感じ取ってくれば良いなと思いました。ウエスタンズの選手達は、非常に恵まれた環境にいると改めて思いました。選手全員のノックが終了し、それだけでも大きな達成感がありましたが、最後に、選手達が、支えてくださった代表、監督、コーチ陣、OBの先輩達、親御さん達に御礼をする姿を見た時に、熱いものがこみ上げてきました。(具合が悪かったという意味ではありません)青春映画のような夕日を浴びて、全員で写真撮影し、3日間の夏合宿が無事終了。

今思えば、あつという間でしたが、“暑い・熱い”合宿を乗り越えた事で、忘れ難き経験になったと思います。最後に、何ヶ月も前から準備していただいた石原コーチ、奥西コーチをはじめ、監督、各コーチ、OBの先輩達、そしてなによりも各選手の親御さん達、本当に有難うございました。皆様のご協力があってこそ、選手達が一回りも、二回りも大きく、強くなっていくと思います。名古屋ウエスタンズが優勝できるように、これからも皆で一緒に頑張っていきましょう。
吉田 父

Cチーム

❁ 内藤コーチより

監督、コーチの方々を始め関係者の皆様、いつも大変お世話になっております。

Cチーム 内藤 匠馬の父です。

初めに8月12日～14日までの三日間の合宿、お疲れ様でした。また合宿の準備、運営に関係されました方々、大変御苦労様でした。私も三日間、合宿に参加させてもらいましたがすばらしい環境の中で選手たちが練習出来た事を大変有りがたく思っております。

選手の皆さん、三日間の合宿がどうでしたか？暑かったですか？疲れましたか？きつかったですか？それとも楽しかったですか？

Bチームの選手達は50分完走などハードな練習もあったので大変だったかな？

Cチームの選手達も基礎練習を始め、最終日の100本ノック！きつかったかな？

100本ノックを間近で見えていましたが、ノッカーの気迫、選手達の精神力と根性に驚きました。選手達がへろへろになりながらも、Cチームの選手達は泣きながらもボールを追っている姿に感動しました。日頃練習で見ている君たち選手がここまで出来るとは正直、思っていなかったのも事実です。でもその苦しい練習を三日間やりきった選手達は自分自身に自信を持って下さい。試合中でも苦しい場面が数多く有ると思いますが、自分達がやってきた練習を信じて乗り越えて下さい。君たちなら必ずやれる！！ そう思っています。

Bチームの選手の皆、中日スホーツ杯 3位おめでとう！！頂点まであと1歩ですね。大きな目標に向かってこれからの日々の練習にがんばって下さい。

Cチームの選手の皆、7月の練習試合での初戦勝利おめでとう！！もうすぐ本格的にプレーボールかな？人数も増え少し野球らしくなってきましたね。

もっともっと野球を好きになってルールなどを含め、基本的な事をしっかりと練習し勝利が掴みとれる様にならばいいですね！！
まだまだ残暑が厳しく熱い中での練習になるとと思いますが、体調を崩さぬ様に気を付けて練習に頑張ってください。

❁ 藤井コーチより

題名 初めての子供との合宿

私は25年前名古屋ウエスタンズ第4期生でした。入団した時、私は小学2年生です・・・今、息子が小学1年生で入団する事になり今、私はコーチとして子供たちに野球を教えさせて頂いてます。当時の事を思い出しながら日々子供達と共に楽しく練習に参加しています。

今回の合宿でコーチ(親)という立場で感じた事は高学年の子供たちの面倒見の良さ、礼儀正しさ、低学年の子供たちへの思いやりといったようにとても感動いたしました。息子は私が居るので少し甘えたり頼ったりするものかと思いましたが一切私には無く、高学年のお兄ちゃん達を頼り、真似をし、尊敬し、とても楽しそうに合宿に参加して少し息子も成長できているのかと思えました。少年野球に入り、息子も日々成長させてもらって下の子供達に頼られる存在になってくれたらと心から思いました。

最終日の100本ノックですがとても子供達は頑張っていたと思えました。この子はこんなに芯が強かったのか？こんなに？こんなに？と思いつつも何度か教えながら、怒鳴りながら涙を流してしまいました。子供たちは本当にとても頑張っていたと思えます。

少年野球の親御さんたちにも感謝いたしました。当時の私も練習着を泥んこに汚しても次の日にはきれいになっているのも、飲み物が有るのも、サポートしてくれるのも当たり前と思っておりましたが親になって本当に親のありがたみがわかりました。お父様、お母様の協力のもとに子供たちがのびのびと練習、合宿ができていたということを実感いたしました。
藤井康弘

❁ 夢や目標を達成するには

一つしか方法がない

小さな事を積みかさねる事

イチロー

8月の成績

Bチーム

○H23. 8.6 (土)

蟹江教育リーグ 19回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	計
名古屋 ウエスタンズ	0	5	3	7			15
須西 コンバット	0	0	0	0			0

○H23. 8.7 (日)

蟹江教育リーグ 20回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	計
名古屋 ウエスタンズ	0	0	0	3	2		5
守山ボーイズ	0	0	0	0	2		2

○H23. 8.27 (土)

名古屋市スポーツ少年団 1回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	計
ファイヤー ボーイズ	3	0	2	0	0		5
名古屋 ウエスタンズ	1	1	1	0	0		3

○H23. 8.28 (日)

練習試合

チーム名	1	2	3	4	5	6	計
北名古屋 ドリームス	0	0	3	0	0	3	6
名古屋 ウエスタンズ	1	0	1	0	1	0	3

○H23. 8.28 (日)

練習試合

チーム名	1	2	3	4	5	6	計
北名古屋 ドリームス	0	0	0	1	1	2	4
名古屋 ウエスタンズ	1	0	0	0	0	1	2

試合結果のまとめ

Bチーム試合結果

○蟹江町教育リーグ 2勝
○名古屋市スポーツ少年団 1回戦敗退
○練習試合 2敗

チョット一言コーナー

都合によりお休みします

お知らせ

事務局より

今回の合宿は去年までとは異なりなるべく特定の保護者の方に負担をかけないようにと事務局中心で進行させてもらいました。また色々な役割分担では保護者の方のできる範囲の事をお願いしてご協力頂きました。これからの行事運営も保護者のご協力はこの様な形で進めたいと思っておりますが運営方法についてご意見のある方は事務局までお知らせください。

Cチームの保護者の方は初参加の方も多く、その他の方たちにも説明不足等の不備が有ったと思いますが初めての事でしたのでご理解頂き皆様にはこれからの名古屋ウエスタンズ維持運営にご協力を宜しくお願ひします。

またレクレーションでは父コーチ達が準備から設置・運営まで遂行して頂き有難うございました。来年も新しいバリエーションでお願いします。

副事務局長 奥西・事務局 石原

*次回は父コーチ・母のコメントを掲載する予定ですのでよろしくお願いします。

編集事務局 奥西

編集者：奥西